

44 キセルハゼ

(ハゼ科)

兵庫県ランク:A

Gymnogobius cylindricus

環境省ランク:EN

種の概要

全長7cm程度。河口干潟や前浜干潟の砂泥底、軟泥底に生息する。無脊椎動物のアナジャコ類が作った生息孔を生息場や産卵場利用している。クボハゼに似るが、本種では腹部と尾鰭の下部に斑紋がないことで区別できる。日本固有種で、伊勢湾、瀬戸内海、九州北部、有明海、八代海に分布する。



写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内での分布は局限されており、瀬戸内海側の1河川の河口域でのみ確認されている。直近の確認記録は1998～1999年であり、最近の生息状況は不明である。個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

本種は生息場所として無脊椎動物の生息孔を利用しており、無脊椎動物を含めた干潟環境の保全が求められる。埋め立てや河道掘削による直接的な生息地の消失を避けるほか、生息地の上下流の改変により、河川や潮の流れ、土砂供給量の変化などを通して引き起こされる間接的な生息地の消失（本種の生息に適した底質の消失）にも留意する必要がある。なお、本種は通常の魚類採集で行われるタモ網を用いた採集では捕獲効率が低い可能性が指摘されている。生息が考えられる環境での魚類調査の実施にあたっては、シャベルを用いた採集方法を併用したい。

県内分布

赤穂市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	○
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○

